



土壌還元消毒資材の決定版！

ソイルファイン

*荷姿：15kg・ポリ袋

未消毒圃場



ソイルファイン施用圃場



<試験概要> 施用資材：ソイルファイン 750kg/10a 消毒期間：7月初旬～7月末

ソイルファインとは？

アミノ酸、有機酸、腐植酸、糖類などを含有する有機質肥料です。含有成分は、悪天候下での植物の生育や品質の向上、また根圏域の微生物の増加といった効果が期待されます。

肥料成分（分析値）

窒素	リン酸	カリ
3%	3%	1%

遊離アミノ酸総量* 2.54%
*自社分析例



水溶性有機物を
たっぷり含有！

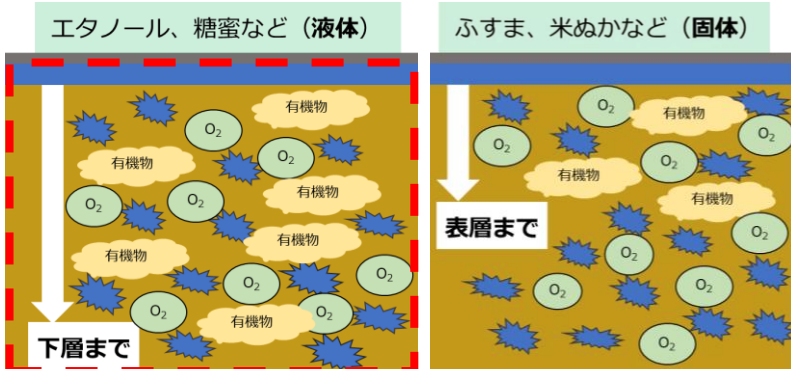


ソイルファインの特長

ソイルファインは、600～750kg/10a施用で米ぬか1t/10aと同等の消毒効果を確認！

ソイルファインは固形の有機物と水溶性の有機物を含むため、液体資材同様に、表層から下層まで土壌の広い範囲の消毒が可能！

ソイルファインなら、
下層土まで消毒可能！
詳しい使い方は裏面を
ご確認ください！



土壌還元消毒とは？

土壌を強い還元状態（酸欠状態）にすることで、センチュウや病害菌などの土壌中生物や雑草の種子を死滅させる消毒方法です。

消毒作業の流れ（詳細）

- ① 資材散布 …ソイルファインを10 aあたり、600～750*_□（40～50袋）を均一に散布します。
青枯れ病が発生している圃場では750*_□以上がオススメ！
- ② 耕 う ん …ロータリーで15～20cmの深さまで耕うんします。耕うん後、間を置かず灌水、被覆作業を行い、1日間で消毒を開始します。この際、施肥・畝立してもOK！
- ③ 灌 水 …灌水チューブなどを利用して、足が潜るくらいまで、ムラなく灌水します。
水がハウスサイドから流れ出さないように堀を作るなどして下さい。（ワンポイント）
- ④ 被 覆 …透明なビニールで土壌表面を被覆した後、3週間程度密閉し、地温の上昇を促し、地温を30℃以上確保します。
- ⑤ 消毒終了 …地温が高くなっているので、1週間程度かけて遮光や、換気、通気して地温を下げます。
その後、施肥・畝立を実施します。*

資材散布および耕うん



灌水チューブ設置



被覆および灌水



💡消毒時のワンポイント



*被覆資材の端にチューブを敷設し、入水・止水が重要！

※施用したソイルファイン由来の窒素の内、3割程度が次作に肥効発現するので減肥が可能です。

土壌還元状態の確認方法(ジピリジル反応)

ジピリジル試薬を用いることで還元状態を確認出来ます。赤色が濃いほど強く還元状態になっていることが確認出来ます。以下の試験でも、ソイルファイン区では深層も還元状態になっていることが確認しました。

消毒期間：7月初旬～7月末

深度 [⇩] 区名 [⇩]	0-10cm [⇩]	10-20cm [⇩]	20-30cm [⇩]	30-40cm [⇩]	40-50cm [⇩]	50-60cm [⇩]
ソイルファイン区 750* _□ /10a						
米ぬか区 1,000* _□ /10a						

💡 消毒前の栽培圃場チェックポイント

- 消毒期間中、地温を30℃程度で確保できるか
- 湛水条件が作れるか（水はけが良過ぎる圃場でないか）
- 消毒期間が1か月程度確保できるか

使い方を正しく理解して
上手に使おう！

